



保護者 様

教育目標：「生き抜く力」の育成（「やさしく  
～地域とともに学び続ける学校～」

# いきいき東っ子



東川登小学校便り 第4号

かしこく たくましく」  
令和5年5月17日（水）

東川登小HP  
校長 吉家 恵美

## ◆ゴールデンウィークを終え、学びの充実期に入りました。◆

今年のゴールデンウィークは、5日間の連休でした。連休明けは、相撲大会の練習から始まり、学習と運動、そして生活リズムを整えることを頑張りました。おかげで、体調不良を訴える子どもも少なく、各学級の授業も落ち着いて実施できていました。コロナが5類に移行し、学習の形態に制限がなくなりました。しかし、朝夕や日々の気温差は体にこたえます。大人も子どもも疲れを感じる季節です。食事、睡眠等を今一度確認し、エネルギーを保ち続けたいものです。子ども達の登校の様子ですが、ほとんどの子が7時45分ごろには校門を通過しています。昨年度よりも少し早いように感じます。地域での並び方、挨拶なども見守って下さい。

### ～～最近の行事より～～

【1・2年学校たんけん】 【地震火災避難訓練】



知恵を出し合っています。

消防署の方からの指導を受けました。



## ◆第19回東川登町相撲大会◆

14日（日）は、前日までの雨もあがり、4年ぶりの「東川登町相撲大会」を行うことができました。スポーツ協会、相撲連盟、公民館、町子連、育友会等の方々が準備や練習、そして当日の片付けまでとても温かく熱心に支援・運営をされたおかげで大きなけがや事故もなく、大盛況のうちに終了しました。

当日は市長、教育長をはじめ来賓の方にもお越しいただきました。市長からは「武雄市の中でもここまで本格的な相撲大会は見たことがない」と感想を話されました。子ども達の様子を見ると、市長の話にあったように「最後まであきらめない姿」「友達を一生懸命応援する姿、

負けても引き分けでも互いを称え合う姿など東っ子のよさが随所に見受けられました。

6年生の「選手宣誓」（原田心遥さん、庭木華恋さん）は内容も声の大きさも素晴らしく町の方も感心されていました。「土俵砂ならし」（中尾祥大さん、北侑史さん）は少ない練習期間を連想させない、堂々とした内容でした。また、弓取り式（副島陽太さん）が大会を納める場にふさわしく堂々とした態度・表情で大役を務め、周囲から拍手喝采でした。

大会を企画・運営してくださった皆様方、本当にありがとうございました。



～まわし付けや親子相撲へのご協力も、ありがとうございました～

## ◆R5 学校教育の重点◆

教育目標を実現するため、以下を重点にし、全教職員一丸となり今年度も取り組みます。地域に開かれた学校として、前進していきます。

